

草の根パートナー型
2014年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	エチオピア国
2. 事業名	カタル川流域住民参加型養魚による栄養改善プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>「エ」国の保健セクターでは蛋白・エネルギー栄養障害が感染症と並んで重要課題となっている。係る状況下「エ」国政府は、「国家栄養プログラム」を立上げマルチセクターによる栄養改善を戦略目標の一つとしている。また、本プロジェクト対象地域は、2002/2003年に発生した飢饉の際にも大きな被害を経験しており、栄養関連の保健指標は他地域及び都市部に比べ悪く、動物性タンパク質摂取の割合は「エ」国において最低の水準にある。</p> <p>本プロジェクト対象村においては、村の灌漑施設に付帯した溜池を活用しての養魚を行っているが、養殖に関する知識と技術が未熟であるため生産量は低く留まり住民の需要を満たしていない。</p> <p>対象村住民は、村の安定的な動物性タンパク質の供給源として、また将来的な商業化による村の現金収入源として養魚池の建設を望んでおり、養魚池建設に適した未利用の湿地帯を村の所有地とする手続きも完了している。</p> <p>本プロジェクトは、養殖に係る適正技術を対象村に移転し、住民主体の持続的な養魚池の運営維持管理体制を構築することで村での魚の入手可能性を高めると共に住民の栄養に関する知識の向上を図り、栄養に配慮した形で生産された魚が消費されることで村の食生活を改善することを目的として実施するものである。</p>
4. プロジェクト目標	対象村において養魚池の持続的な運営・維持管理体制が構築され、生産された魚が対象村住民に分配され食の多様性が向上する。
5. 対象地域	オロミア州アルシ県 シャレッドグト (Sheled Goto) 村
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	オロミア州アルシ県 シャレッドグト (Sheled Goto) 村の住民
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象村で住民参加の養魚生産体制が構築される。 2. 対象村住民の栄養に関する知識が向上する。 3. プロジェクトを推進するマルチセクターによる連携体制が構築される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 養殖事業を担う委員会を設立する。1-2. 養魚池を建設する。1-3. 養魚池の運営管理方法について技術指導する。1-4. 養魚マニュアル・養魚管理簿を作成する。1-5. 生産された種苗及び一部の成魚の販売を支援する。 2-1. 生活改善委員会を設立する。2-2. 生活改善委員会と共に対象村の栄養状況を把握する調査を実施する。2-3. 村の生活改善委員会と共に、養魚池で生産された魚の分配方法と栄養啓発活動を含む食生活改善計画を策定し、実施する。 3-1. ステークホルダー分析を実施する。3-2. ステークホルダー分析に基づきプロジェクト推進支援体制を設立する。3-3. プロジェクト推進に関する会議を各ステークホルダーと定期的に開催する。
8. 実施期間	2016年1月～2021年5月(5年4カ月)
9. 事業費概算額	56,719千円
10. 事業の実施体制	提案団体並びに対象村に設立する生活改善委員会・養魚委員会及び郡保健事務所、州水産資源研究センターから成るワーキンググループが活動実施の中心を担う。また、州・県レベルの保健及び農業・水産セクターを中心としたプロジェクト推進支援委員会が本プロジェクトの推進を支援すると共に、プロジェクト終了後にも対象地域における栄養に配慮した養殖事業の持続的展開を支援する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	2016年1月～ 共同事業体：(株)ティーエーネットワーク、(株)バイオインダストリージャパン 2018年8月～ (株)ティーエーネットワーク
2. 活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 途上国での保健医療分野における技術協力の実施とコンサルティング業務 2. 途上国での水産 ODA 事業後の地場産業化を促進するためのコンサルティング業務 3. ODA 協力、途上国の自立支援、国際協力の理解促進と日本社会への還元に係る業務